Facebook





令和6年度 兵庫県立森林大学校主催 研修計画(案)

赤字:変更

塗りつぶし終了

1 事業者高度化コー	ス
------------	---

コース名		研修名	実施時期	日数	場所	講師	定員 (1回あたり)	概要
林業機械高度化コース		路網作設スキルアップ研修	8月1日~2日	2	宍粟市内	森林大学校職員 林業事業体職員	10	効率的で壊れにくい作業道を作設するため、QGISを 活用しCS立体図など詳細な情報をもとに路網線形の 図上作設の後、現地へ展開し検証を行う。
		伐木災害防止研修	6月~2月のうち1日間 間 ※下記8日間を設定 (6月21日-7月23日 8月29日・9月12日・ 10月31日・12月17日 1月21日・2月18日)		県立森林大学校 川戸演習場 (宍薬市)	林業事業体職員	4	チェンソーによる伐木災害の未然防止を図るため、伐 倒練習機や風倒木伐採訓練装置を用い伐倒技能を検 証のうえ安全な作業方法を学ぶ。
		樹上作業基礎研修	10月7日~8日	2	県立三木山森林公園 (三木市)	アーボリスト®トレーニング研究所職員	10	狭い場所や傾倒木など樹上で行う伐採を安全に行うため、基礎知識やローブクライミング、リギング技術を学ぶ。
高度化コース		GNSS活用研修	8月6日	1	県立森林大学校	森林大学校職員 林業事業体職員	10	GNSSにより位置特定や測量を容易に行うため、GPS スマートフォンアプリ及び高精度GNSSの操作や測定 データの活用法について学ぶ。
	スマート林業	QGIS操作研修	6月25日~26日	2	県立森林大学校	県職員 ひょうご森づくりサポートセンター	10	QGISにより詳細な地形情報等を森林・林業に活用するため、基本操作について学ぶ。
		QGIS実務研修	7月29日~30日	2	県立森林大学校	県職員 ひょうご森づくりサポートセンター	10	QGISIにより詳細な地形情報等を森林・林業に活用するため、実務への活用方法について学ぶ。
		スマート林業推進研修	9月26日~27日	2	県立森林大学校	機器製造·販売元社員 林業事業体職員	10	LPWAやアシストスーツなど主使・再造林作業の軽労化・省力化・安全性向上に資する機器の活用法について学ぶ。
木材利用高度化コース		木育基礎研修	7月下旬 (うち1日間)	1	神戸市内	木育指導者 木育導入者	10	ホエ製作を通じて、道具の使い方やメンテナンスの必要性を学ぶとともに、森林や木材への理解を促す方法について学ぶ。
計		8科目		20			延べ152人	

2 地域リーダー養成コース

<u> </u>	実施時期	日数	場所	講師	定員 (1回あたり)	概要	
森林セラピー®	4月12日(金) 1月	2	兵庫県立国見の森公園 あかさい 赤西渓谷(宍粟市)	森林大学校 特任大使 宍粟市森林セラピーアドバイザー 宍粟市癒やしの森ガイド		心と身体の健康を保つため、森林セラビー®による効用を体験する。	
樹木学講座	5月11日(土) 10月	2	姫路市自然観察の森(5/11) 兵庫県立ゆめさきの森公園	元大学特任教授 樹木医		森林の理解を促進するため、樹木の基礎知識や見分け方について学ぶ。	
きのこ学講座	7月6日(土)	1	^{みむち} 三室高原(宍粟市)	きのこアドバイザー 関西菌類談話会		きのこを通じて森林への理解を促進するため、きのこの 基礎知識や見分け方について学ぶ。	
グリーンウッドワーク体験講座 11		11月14日(木)	1	県立三木山森林公園 (三木市)	木工指導者	8	木工体験を通じて森林や木材への理解を促進するため、道具の使い方やメンテナンス法について学ぶ。
森を育むジビエ	2月 (うち1日間)	1	神戸市内	ジビエ料理家	12	森林等に大きな被害をもたらしているシカの駆除後の 活用を促進するため、家庭で出来るシカ肉の調理方法 を学ぶ。	
計	5科目		7			延べ110人	

3 市町職員等高度化コース

0 市場機員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
	実施時期	日数	場所	講師	定員 (1回あたり)	概要	
森と木を活かす	8月~2月 (うち9日間)		宗 <u> </u>	県職員 地域林政アドバイザー ひょうご森づくりサポートセンターほか		森林・林楽を担う行政職員のスキルアップのため、基礎 から実務までの広範囲な知識や技術を学ぶ。	
計	1科目		9			延べ320人	